

# オペレーティングシステム演習

---

第11回(2009.06.25)

プロセスとメモリ管理

# プログラムとプロセス

---

- プログラム
    - コンピュータを動作させる命令語とデータ
    - 実行していない時も、コンピュータ上にファイルとして存在している。
  
  - コマンドもプログラム
    - /usr/binのディレクトリ
    - MINIXの「コマンド」は、ほとんどプログラムとして提供されている。
      - シェルが処理しているものもある。
  
  - プログラムが実行されると、それが「プロセス」になる。
    - プログラムの実行が終了すると、プロセスも終了する。
-

# プログラムの実行

---

- シェルが、プログラムを実行する。
    - システム関数exec()を「実行」する。
  
  - プログラムを「実行」するとは、どういうことか？
    - プログラムをメモリにロードする。
    - データ領域を確保する。
    - 「命令語」を一行ずつCPUに送る。
    - 「命令語」を実行する。
  
  - 現在実行されているプログラムが、「プロセス」
    - プロセスの状態が、システムで保存されて、OSによって資源が管理される。
-

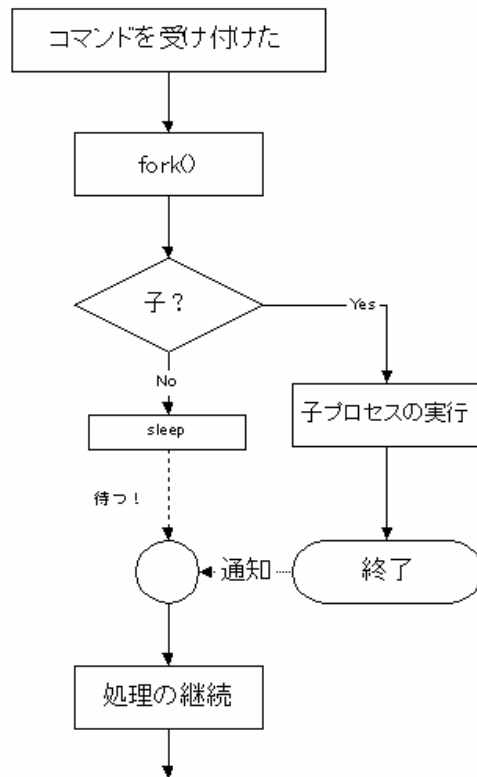
## 関数 `execl`, `execv`, `execle` など

---

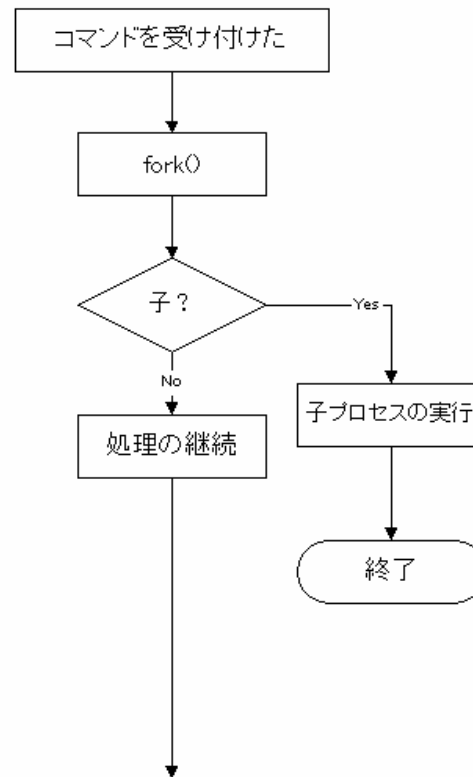
- `Exec` = `Execute` (実行する)
  - `L` -- `LIST`, `V` -- `Vector` (配列)
  
  - `exec` をコールすると、そのプログラム自身が `exec` で渡した「引数」のプログラムに置き換わる。
    - プログラムが引き継がれる。
-

# シェルによるコマンドの実行

シェルによるコマンドの実行  
(フォアグラウンド)



シェルによるコマンドの実行  
(バックグラウンド)



# 実習課題1 (バックグラウンドタスク)

---

- 時間のかかるプログラムを作成し、そのプログラムをフォアグラウンドで実行させる。
  - 同じプログラムをバックグラウンドで実行させる。
  - シェルの反応を調べる。
-

# do\_forkを調べる

---

- /usr/src/mmでdo\_forkをトレースする。
    - /usr/src/mm/forkexit.c 34行目
  
  - なぜ、mmか？
    - 新たにプロセスが生成された時に、そのプロセスが使用するメモリが割り付けられる。
    - alloc\_mem()のコール:57行目
  
  - メモリの管理:教科書P117
-

# メモリ管理の構造体

---

- mproc構造体

- /usr/src/mm/mproc.h

- メンバー: struct mem\_map mp\_seg[3];

- mem\_map構造体

- /usr/include/minix/type.h

- ```
struct mem_map {  
    vir_clicks mem_vir; /* virtual address */  
    phys_clicks mem_phys; /* physical address */  
    vir_clicks mem_len; /* length */  
}
```

この、virtual address と physical addressとは何か？

教科書: P131 「仮想メモリ」

---



# 「ページ」単位の切り替え

---

## □ ページ管理

- メモリを単位する管理として、「ページ」という概念がある。
- ページイン／ページアウト
- 実メモリにデータを書き込む際に、アドレスを変換する。

## □ プロセスが生成(終了)された際に、ページ管理テーブルのエントリが作成される。

- これがどこにあるか…。
-

# 第11回:宿題:「仮想メモリ」

---

- (1) 「仮想メモリ」と「物理メモリ」の違いをまとめなさい。
- (2) プログラム中に、segmentという概念が扱われている。どのような目的でセグメントが使用されているか、まとめなさい。

## ボーナス課題

- (3) (1)と(2)で記述した内容を、うまく説明するようなMINIXのソースコードがどこに書かれているか、探して示しなさい。
-